

# 事務事業評価シート

事務事業コード	022300	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	街なか居住推進事業		所属名	都市整備部	中心市街地整備課	

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 実施の 目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	運営方法	直営
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なか居住推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-35-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地への居住希望者、空き家・低未利用地の有効利用を希望する所有者など
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地の空き家や低未利用地などの既存ストックの利活用の促進と転入施策の強化により、新規居住者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	住宅供給に関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、新規居住者に対する支援などを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別実績	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤大学と連携した既存ストック実態調査	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営	①空き家改修支援 ②居住モニターによる情報発信 ③総合相談窓口の設置 ④アドバイザー派遣支援 ⑤居住体験施設の整備・運営
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,712	7,646	9,106	9,315	0	
	直接経費 A	6,102	3,986	5,484	5,720	0	
	直接経費の 財源内訳	国・県	3,030	0	0	250	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,072	3,986	5,484	5,470	0		
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	1
			実績	60	38	90	82	0
	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数平均をプラスとする)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							



# 事務事業評価シート

事務事業コード	022400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業		所属名	企画推進部	政策企画課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	運営方法	直営
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費			予算事業コード	01-02-01-07-56-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	旧本庁舎及び第二庁舎跡地
意図 (どのような状態 にするために)	旧本庁舎、第二庁舎跡地の有効活用を行う進め方・合意形成の方法を決定する。
手段 (どうするのか)	有識者等で構成する検討委員会により、有効活用を行うために、どのような方法で市民の意見を聞き取り、全市の、将来的な観点で最も有効に活用できる進め方・合意形成の方法を決定する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	①庁内調整会議の開催	①庁内調整会議の開催	①庁内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催	①庁内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催	①庁内調整会議の開催 ②外部検討委員会の開催	
年度別実績	①庁内調整会議の開催 (第4回:12月開催)	①庁内調整会議の開催 (第5回:7月、第6回:3月開催)	①庁内調整会議の開催 (3回) ②外部検討委員会の開催 (3回)	①庁内調整会議の開催 (3回) ②外部検討委員会の開催 (3回)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	144	293	909	894	0	
	直接経費 A	0	0	185	175	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	185	175	0		
人件費 B	144	293	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.04	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想策定進捗率	%	目標	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討において見込む平成30年度での“基本構想”策定完了率							
2	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画策定進捗率	%	目標	0	0	0	0	100
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 現本庁舎・第二庁舎跡地活用検討において見込む令和元年度での“基本計画”策定完了率							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 政策企画課 0857-30-8012</p> <p>【10次総の施策体系】3203</p> <p>【事業の経過及び背景】 市庁舎機能移転後の旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関しては、これまで「現本庁舎等跡地活用に関する庁内調整会議(平成27年10月~)」、市議会「本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会(平成30年2月~)」、有識者等で構成する「現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会(平成30年8月~)」においてそれぞれ検討を行っている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用方策に関して、市民の合意形成を図るため、有識者等で構成する検討委員会において検討を行う。</p> <p>【事業の内容・実績】 (事業内容) ・有識者等で構成する「現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会」を開催(3回) (事業実績) ・令和元年度 175千円</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用基本構想策定進捗率					
	2	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用基本計画策定進捗率					
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>旧本庁舎と第2庁舎が立地していた場所は、長年多くの方々に利用され、親しまれてきた全市民の貴重な財産であることから、跡地の利活用を検討するに当たり、様々な方法で多くの方々に幅広くご意見を伺うべきであると考えているので拙速にならないようスピード感を持ちながら、本市の活性化につながる活用策となるよう、丁寧に検討する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	022500	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中心市街地活性化助成事業		所属名	都市整備部	中心市街地整備課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	運営方法	補助金交付
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中心市街地活性化助成事業費			予算事業コード	01-06-01-02-26-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で開催されるイベント
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地への集客による賑わい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成を図る。
手段 (どうするのか)	中心市街地内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①公募提案型イベント 開催補助	平成29年度 ①公募提案型イベント 開催補助	平成30年度 ①公募提案型イベント 開催補助	令和元年度 ①公募提案型イベント 開催補助	令和2年度 ①公募提案型イベント 開催補助	
	年度別実績	①公募提案型イベント 開催補助(16件)	①公募提案型イベント 開催補助(13件)	①公募提案型イベント 開催補助(11件)	①公募提案型イベント 開催補助(13件)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,981	5,804	4,921	4,694	0	
	直接経費 A	5,259	5,072	4,197	3,975	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	3,975	0
一般財源	5,259	5,072	4,197	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400
		実績	14498	18547	14138	12689	0		
	(指標の説明) 中心市街地主要10地点の(平日)歩行者・自転車通行量。基準値は平成26年度実績。								
	2	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	人	目標	17600	17800	18000	18200	18400
		実績	10637	16432	14912	16400	0		
	(指標の説明) 中心市街地主要10地点の(休日)歩行者・自転車通行量。基準値は平成26年度実績。								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P188(都021)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客による賑わい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成を目指す。</p> <p>【事業の成果】 来街者の呼び込みによる賑わい創出のほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起につながっている。また、公募提案型イベントへ補助することで、まちづくりを担う人材の育成や交流の促進につながっている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助件数</th> <th>参加者数</th> <th>新規主催者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>13件</td> <td>30,102人</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>11件</td> <td>27,150人</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13件</td> <td>46,102人</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 恒常的な賑わいや商業への波及などの課題解決に向け、必要に応じ補助制度の見直しを図るほか、効果的なイベントへの支援を行っていく。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>		補助件数	参加者数	新規主催者数	平成29年度	13件	30,102人	4件	平成30年度	11件	27,150人	4件	令和元年度	13件	46,102人	6件
		補助件数	参加者数	新規主催者数													
平成29年度	13件	30,102人	4件														
平成30年度	11件	27,150人	4件														
令和元年度	13件	46,102人	6件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1 【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	82%	104%	79%	70%	
	2 【KPI】中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	60%	92%	83%	90%	
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>昨年度と比較し、平日の歩行者・自転車通行量は減少したが、主に市庁舎移転による影響と考えられる。休日は、パレットと通りのコンビニ店、鳥取大丸のリニューアルなどの影響で増加はしているものの目標値には達していない。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>イベント件数、来場者数ともに前年度より増加した。定期的、継続的なイベントや新規のイベントなども増えてきており、集客のみならず、まちづくりを担う新たな人材の育成にも繋がっている。波及効果が期待されるイベントなど、引き続き支援に取り組んでいく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	022700	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業		所属名	都市整備部	中心市街地整備課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	運営方法	外部委託
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅前太平線沿道の商店街等
意図 (どのような状態 にするために)	市道駅前太平線を官民共同により人が集まる魅力的な空間に変え、鳥取駅周辺の賑わい創出を図る。
手段 (どうするのか)	太平線で開催するイベントを支援することにより、鳥取駅周辺への来街者の呼び込みを図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	平成29年度 ①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	平成30年度 ①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	令和元年度 ①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	令和2年度 ①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	
	年度別実績	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託	①駅前太平線バード・ハット活用イベントへの経費補助 ②駅前太平線バード・ハットを活用した賑わい創出に関する業務委託		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,903	9,913	9,604	8,308	0	
	直接経費 A	9,181	9,181	8,880	6,870	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1,667	0
一般財源	9,181	9,181	8,880	5,203	0		
人件費 B	722	732	724	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実績	14498	18547	14138	12689	0						
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。												
	2	指標名	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実績	10637	16432	14912	16400	0						
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計。基準値は平成26年度実績。												
3	指標名		単位		区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績					0	0	0	0	0			
(指標の説明)													

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P188(都022)</p> <p>【事業の概要】 市道鳥取駅前太平線における賑わい創出に係る運営業務を商店街振興組合に委託するとともに、イベント開催に対し支援を行うことにより、鳥取駅周辺の集客による賑わい創出を図る。</p> <p>【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、集客力の向上に資するイベントを実施することで、来街者の呼び込みによる賑わい創出を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">イベント件数</td> <td style="text-align: center;">来街者数</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">37,283人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">27件</td> <td style="text-align: center;">51,963人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">27件</td> <td style="text-align: center;">48,035人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 イベントにより集客した来街者のまちなか回遊の喚起と、定期型イベント等での活用による集客・来街頻度の向上を目指す。また、商店街の振興や日常的な賑わい創出につながる活用方策について検討を進めていく。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>		イベント件数	来街者数	平成29年度	26件	37,283人	平成30年度	27件	51,963人	令和元年度	27件	48,035人
		イベント件数	来街者数										
平成29年度	26件	37,283人											
平成30年度	27件	51,963人											
令和元年度	27件	48,035人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	82%	104%	79%	70%	
	2	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	60%	92%	83%	90%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>昨年度と比較し、平日の歩行者・自転車通行量は減少したが、主に市庁舎移転による影響と考えられる。休日は、パレットと通りのコンビニ店、鳥取大丸のリニューアルなどの影響で増加はしているものの目標値には達していない。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和元年度のイベントによる来場者数は、前年度と比較し若干減少した。今後も商店街や他のプロジェクト等駅周辺の連携を強化し、様々なアイデアを出し合う中、商店街の振興や日常的な賑わい創出等につながる仕組みづくりに取り組んでいく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	022800	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	遊休不動産利活用推進事業		所属名	都市整備部	中心市街地整備課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分	ソフト(任意)
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	運営方法	直営
目標の	中心市街地新規開業数		0店舗	100店舗	会計区分	一般会計
	予算	予算事業名	遊休不動産利活用推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-52-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	一般市民を対象
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地活性化のために、空き家・空き店舗など遊休不動産の利活用を通じて、市の課題を官民協働で解決しながらまちの魅力を高める。
手段 (どうするか)	中心市街地に存在する遊休不動産とそれを活用する事業者の掘り起こし、民間まちづくり会社や地域住民と連携したマッチング等を行い、エリアに適する事業を成立・持続させる。また、一定のエリアで集中した事業化を行うことでエリア周辺の価値(魅力)の向上、課題解決につなげる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①リノベーションまちづくり構想の策定 ②講演会、リノベーションスクールの開催	①講演会、リノベーションスクールの開催 ②リノベーションまちづくり会議の開催 ③地域住民との連携体制の構築 ④リノベーションまちづくりに関する融資制度の検討	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ③エリアマネジメントに関する調査検討 ④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討	①リノベーションまちづくり会議の開催②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援③エリアマネジメントに対するサポート④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討⑤遊休不動産マッチング制度の新設	①リノベーションまちづくり会議の開催 ②民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ③エリアマネジメントに対するサポート ④地域住民と連携した遊休不動産の掘り起こし、活用方策検討
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,775	14,034	6,524	3,088	0	
	直接経費 A	0	8,179	730	212	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	3,894	365	106	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	390	0	0	0
一般財源	0	3,895	365	106	0		
人件費 B	5,775	5,855	5,794	2,876	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI]遊休不動産の利活用件数(累計)	件	目標	3	6	9	12	15
				実績	2	4	5	9
(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。利活用件数について5か年累計15件以上。								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186(都018)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地の遊休不動産(空き家、空き店舗など)をリノベーション手法により再生し、活用することで、産業と雇用を生み出し、まち(エリア)の魅力を高める「リノベーションまちづくり」を進めている。 平成26年度より、リノベーションスクールの開催等を通じて、遊休不動産を活用したまちづくりに取り組む「担い手」や「民間まちづくり会社」の育成、「不動産所有者」への啓発に取り組んできた。これに加えて、平成29年3月に策定した「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、民間事業者が活動しやすい環境づくりや一定のエリアを設定しての実践的な取り組みなど、官民が一体となったまちづくりを進める。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションまちづくり会議の開催</li> <li>・民間まちづくり会社等の育成、伴走支援</li> <li>・遊休不動産と利活用希望者とのマッチング促進(制度新設及び周知)</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、民間との情報交換や事業推進に向けた検討の場となる「リノベーションまちづくり会議」の開催、民間が活動しやすい環境づくり、民間や地域によるエリアマネジメントの推進等に取り組む。また、遊休不動産と民間事業者のマッチングを強化するため引き続き制度の周知を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]遊休不動産の利活用件数(累計)	67%	67%	56%	75%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>投融资制度の活用等により、複数の遊休不動産の事業化が実現したことなどから、令和元年度の利活用件数は、4件となった。引き続きサポートを行っていくとともに、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化に取り組んでいく。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、リノベーションまちづくり会議の開催、投融资制度の活用等による事業化の伴走支援等を行った。引き続き、事業化に向けた伴走支援や民間、地域によるエリアマネジメント推進に向けた取り組みを進めるとともに、遊休不動産所有者と民間事業者のマッチングの強化を図っていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	036700	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	鳥取駅周辺再整備事業		所属名	都市整備部	中心市街地整備課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分区分	建設、整備
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	運営方法	直営
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅周辺エリア
意図 (どのような状態 にするために)	中核市、連携中枢都市圏の中心市の拠点として、鳥取駅周辺の賑わいの創出、都市機能の充実を図る。
手段 (どうするのか)	「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業の推進や、鳥取駅周辺の新たな賑わい創出に向けた関係者との調整協議、構想策定に取り組む。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置付けた事業の推進 ②鳥取駅周辺再生基本計画(後期)の策定	平成29年度 ①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置付けた事業の推進 ②鳥取駅周辺再生基本計画(後期)の策定	平成30年度 ①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置付けた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討	令和元年度 ①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置付けた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討 ③賑わい創出に係る基礎調査の実施	令和2年度 ①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置付けた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討 ③新たな基本構想の策定	
	年度別実績	①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置付けた事業の推進 ②鳥取駅周辺再生基本計画(後期)の策定	①鳥取駅周辺再生基本計画(前期)に位置付けた事業の推進 ②鳥取駅周辺再生基本計画(後期)の策定	①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置付けた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討	①鳥取駅周辺再生基本計画(後期)に位置付けた事業の推進 ②SQプロジェクト鳥取駅周辺再整備チームによる検討 ③賑わい創出に係る基礎調査の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,755	2,524	3,872	24,878	0	
	直接経費 A	311	328	250	21,283	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	10,472	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	311	328	250	10,811	0		
人件費 B	1,444	2,196	3,622	3,595	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.30	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実績	14498	18547	14138	12689	0						
	(指標の説明)												
	2	指標名	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実績	10637	16432	14912	16400	0						
	(指標の説明)												
3	指標名		単位		区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績					0	0	0	0	0			
(指標の説明)													

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331</p> <p>【10次総の施策体系】 3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P189(都023)</p> <p>【事業の概要】 「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業の推進や、鳥取駅周辺の新たな賑わい創出に向けた調査、関係者との調整協議に取り組む。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業の推進のため、関係機関等との調整協議</li> <li>・S Qプロジェクト「鳥取駅周辺再整備チーム」による各種施策の検討</li> <li>・鳥取駅周辺交通実態調査</li> <li>・鳥取駅周辺の賑わい創出に関する基礎調査</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」の推進を図るとともに、新たな賑わい創出に向けた基本構想を策定するため、基礎調査、S Qプロジェクトによる検討を実施した。来年度は、これらの検討結果をもとに、第2期鳥取駅周辺再生基本構想策定に取り組んでいく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(平日)	82%	104%	79%	70%	
	2	[KPI]中心市街地における歩行者・自転車の通行量(休日)	60%	92%	83%	90%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>昨年度と比較し、平日の歩行者・自転車通行量は減少したが、主に市庁舎移転による影響と考えられる。休日は、パレットとつとりのコンビニ店、鳥取大丸のリニューアルなどの影響で増加はしているものの目標値には達していない。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>「鳥取駅周辺再生基本計画(後期)」に位置づけた事業を推進するとともに、新たな賑わい創出に向けS Qプロジェクトによる検討を開始した。今後、賑わい創出に係る基礎調査、S Qプロジェクトによる検討を踏まえ、新たな基本構想の策定に取り組んでいく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	036800	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	既存ストック活用居住促進地域連携事業		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	～
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3203	中心市街地の活性化				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分区分	建設、整備
	中心市街地の居住人口(社会増減数)		0人	0人	運営方法	直営
	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)		17,600人	18,400人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域
意図 (どのような状態 にするために)	地域主体での既存ストックの活用により若年層の定住促進、コミュニティ機能の充実等を図る。
手段 (どうするのか)	大学との共同研究による実態調査、地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の調査研究、地域主体での遊休不動産利活用に向けた仕組みづくりを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①大学との共同研究による実態調査 ②地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の検討 ③実証事業に向けた空き物件事前調査 ④先進事例公開学習会開催	①前年度調査結果を踏まえた、状況把握、聞き取り調査 ②地域おこし協力隊と地域の連携による既存ストックの掘り起こし、活用方策の検討	①自治会による空き家情報管理・活用体制の検討 ②地域おこし協力隊と地域の連携による既存ストックの掘り起こし、活用方策の検討	
	年度別実績			①大学との共同研究による実態調査 ②地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の検討 ③先進事例公開学習会開催	①前年度調査結果を踏まえた、状況把握、聞き取り調査 ②地域おこし協力隊と地域の連携による既存ストックの掘り起こし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	1,802	719	0	
	直接経費 A	0	0	353	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	353	0	0		
人件費 B	0	0	1,449	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	[KPI]中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	1	1	1	1	1	
		実績		62	38	90	60	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:なし</p> <p>【事業の概要】 地域や大学と連携して空き家等の実態や地域課題を解決する有効活用方策について調査を行うとともに、空き家等の活用、居住希望者とのマッチングを提案することにより、民間(地域)主導による既存ストックの利活用を促進し、若年層の定住促進、地域のコミュニティ機能の充実につなげる。</p> <p>【事業の成果】 ・各町内会長を通じた物件所有者等への個別ヒアリングの実施。</p> <p>【今後の課題・方向性】 これまでの調査等の結果を踏まえ、地域主体での既存ストック活用に向けた仕組みづくりを行う。また、地域課題の解決や居住促進につなげるため、活用可能物件を掘り起こし、モデル事業化を目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]中心市街地居住人口(社会増減数)	6200%	3800%	9000%	6000%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域と連携し空き家所有者等への聞き取り調査を実施した。今後、調査結果等を踏まえ、地域主体での既存ストック活用の仕組みづくりや地域課題の解決等につなげるため、活用可能物件を掘り起こし、モデル事業化等の実現に向けた取り組みを進める。</p>	